



2022年度 第3号
8月30日(火)
発行:名寄高校進路指導部

☆模試を活用しよう

7月末に1, 2年生は進研模試がありました。特に1年生にとっては初めての模試でした。実際に受験してどうでしたか。問題は難しいし、全然分からないし、どうせ学校の成績(評定)には関係ないからと、手を抜かれましたか。途中で寝て時間を潰したりしませんでしたか。

進研模試に限らず全国規模の模試の場合、だいたい平均点が35点前後になるような問題が出題されます。時には平均点が30点を切ることもあります。誰もが高得点を取れるような問題ではわざわざ模試を受ける意味がないからです。これからもそのような難しい問題と向き合わなければなりません。そういうときにどこで部分点を取っていくか、そういう嗅覚を研ぎ澄ましていくことが本番の受験では特に大切になってきます。

さて、模試の平均点が30点くらいということは、全国40万人のほとんどができていなかったということになります。ということは、全国の高校生ができていないんだから、別に今のままでいいんじゃないか、別に復習なんてしなくても大丈夫なんじゃないか、と考える生徒が出てきそうで心配です。

でも、3年生の今頃になると、一気に勉強のペースが速くなります。部活も学校祭も終わって後は受験勉強しかないという状況になって、全国の高校生が一斉に勉強に集中します。そうなったときに自分もペースを上げようと思ってもなかなかうまくいきません。なぜならば、今まで習ったことの復習が十分でないから、何をやるにしてもつまずいて対応ができないからです。

そうならないためにも、模試の復習はきちんとするべきです。普段の授業以外(すでに考査で出題が終わった範囲)の勉強も、後回しにされがちだけどきちんとするべきです。そうやっていざというときに備えて日頃から鍛えておく必要があります。

また、この手の模試を受け続けると薄々気づいてくるかと思いますが、似たような知識(数学で言えば公式)が何回も出てくることがあります。何回も出てくるということはそれだけ重要であるということの意味します。毎回、きちんと復習しておけば、「そういえば、前にも出たことがあるタイプだな」と気づけるし、この気づきの繰り返しがその人の実力アップにつながります。逆に復習をしなければ以前に出たタイプかどうか分からないし、重要な内容なのかどうかも気づきません。

今、この時期に模試の成績に一喜一憂しても仕方がないと思います。もちろんいいに越したことはないですが、悪かったからと言って悲観する必要はないですし、悲観する暇があったら復習をして単語や公式のひとつでも覚えた方がいいです。講義室前にランキング表が張ってありますが、この数字はあくまでも目安であって、これから先、成績(偏差値)はいかようにも変化していきます。とにかく模試の復習はしっかりやっておきましょう。